

平成25年度事業報告書

平成25年度は、経済再生への取り組みが進む中、東日本大震災による災害廃棄物の広域処理支援が終了する一方、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を受け、新たな局面を迎える一年となった。

そうした中で東京都産業廃棄物協会は、一般社団法人として新たな活動を開始し、会員各社と事務局協力の下、伊豆大島を含めた災害廃棄物処理の実施に貢献するとともに異物混入による事故の防止、再生砕石利用促進、千葉県との連携推進、委員会活動の一層の充実など活発に行動し、次のような事業を行った。

1. 適正処理推進事業（公益的事業）

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

法制度の改正や首都直下などの巨大地震による災害廃棄物対策の動向等について情報収集を行うとともに、異物混入による事故の防止など会員が直面する課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため、調査研究を行い、要望等を実施した。

2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌『とうきょうさんばい』やホームページ、各種研修会、相談業務を通して会員に提供した。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。また、昨年度に引き続き、東京都から「健全な静脈ビジネスの発展に向けた講習会」事業を受託実施した。

① 建設廃棄物・三者施設見学研修会

34名

対象者：東京都環境局廃棄物対策部

(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会

(一社)東京都産業廃棄物協会 建設廃棄物委員会

期日：平成25年10月17日

内容：アスベスト無害化処理施設見学

勉強会『東京都の不法投棄対策について

～建設廃棄物に対する現場指導～』

見学先施設 : J X金属環境(株) (茨城県日立市)
勉強会講師 : 東京都環境局廃棄物対策部
〃 場所 : (一社)東京建設業協会 会議室 (中央区)

② 健全な静脈ビジネスの発展に向けた講習会 [東京都受託事業] 317名

対象者 : 東京都知事の許可を受けている全処理業者 (13,809社)

ア 適正処理の基礎知識及び実務に関する講習会

期 日 : 第1回 平成25年12月 9日 37名

講 師 : (公財)東京都環境公社

場 所 : 立川トヨタドライビングスクール東京 (立川市)

期 日 : 第2回 平成25年12月13日 34名

講 師 : (株)五十嵐商会

場 所 : テクノプラザかつしか (葛飾区)

期 日 : 第3回 平成26年 1月14日 40名

講 師 : (株)五十嵐商会

場 所 : エッサム神田ホール (千代田区)

期 日 : 第4回 平成26年 1月14日 35名

講 師 : (公財)東京都環境公社

場 所 : エッサム神田ホール (千代田区)

期 日 : 第5回 平成26年 2月10日 41名

講 師 : (公財)東京都環境公社

場 所 : 立川トヨタドライビングスクール東京 (立川市)

期 日 : 第6回 平成26年 2月14日 48名

講 師 : (株)五十嵐商会

場 所 : フクラシア品川 (品川区)

イ 静脈産業をめぐる最新状況に関する講習会

期 日 : 平成26年 3月10日 82名

テーマ : 事業戦略としての設備投資

講 師 : (一社)東京都産業廃棄物協会

タテックス(有)

(株)中央総合ビジネスコンサルティング

(公財)東京都中小企業振興公社

(公財)東京都環境公社

場 所 : 砂防会館「シェーン・バツハサボー」(千代田区)

③ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース 101名

[実施機関 : (公社)全国産業廃棄物連合会 当協会実施協力]

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者等

期日 : 平成25年12月4日

講師 : (公社)全国産業廃棄物連合会

場所 : ベルサール西新宿(新宿区)

2) 講習会事業(許可申請に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

① 新規許可申請講習会 1,078名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第1回	平成25年	5月14日～15日	162名
	第2回	25年	6月11日～12日	164名
	第3回	25年	9月18日～19日	161名
	第4回	25年	11月21日～22日	159名
	第5回	26年	1月16日～17日	161名
	第6回	26年	3月6日～7日	165名 (972名)

場所 : ベルサール西新宿(新宿区)

イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第1回	平成25年	10月2日～4日	106名
----	-------	-------	----------	------

場所 : ベルサール西新宿(新宿区)

② 更新許可申請講習会 1,192名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第1回	平成25年	5月9日	169名
	第2回	25年	5月16日	173名
	第3回	25年	7月18日	177名
	第4回	25年	9月6日	172名
	第5回	25年	11月7日	176名
	第6回	26年	1月10日	166名
	第7回	26年	3月20日	159名

場所 : ベルサール西新宿(新宿区)

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2,450名

期日	: 第1回	平成25年	5月10日	172名
	第2回	25年	6月6日	174名
	第3回	25年	6月7日	173名

第4回	25年 7月19日	169名
第5回	25年 9月 5日	175名
第6回	25年 9月20日	166名
第7回	25年10月17日	159名
第8回	25年10月18日	167名
第9回	25年11月 8日	167名
第10回	25年12月17日	159名
第11回	25年12月18日	145名
第12回	26年 1月 9日	130名
第13回	26年 2月20日	92名
第14回	26年 2月21日	142名
第15回	26年 3月13日	121名
第16回	26年 3月14日	139名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 (医療関係機関等対象) 281名

期日	第1回	平成25年10月30日	158名
	第2回	26年 2月 5日	123名

場所 : 第1回 日本医師会館 (文京区)
第2回 ベルサール西新宿 (新宿区)

(3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。25年度の相談件数は、2,418件で、前年度に比較して224件増加した。

平成25年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,418件の内訳)		II 照会・相談・質問者 内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,650	排出事業者	1,322	会員紹介	1,647		
	相談事項	193	処理業者	420	法令照会	223		
	質問事項	516	建設業関係	259	処理方法	87		
面接 WEB	相談・質問	59	行政機関	82	契約書・管理票	293		
	計	2,418	コンサル	32	リサイクル関連	16		
			医療機関	72	建設廃棄物	14		
			一般都民	231	許可関係	81		
					その他	57		

2. 環境対策事業（公益的事業）

(1) 環境活動

4月20日～21日に開催された「アースデイ東京 2013」に青年部が参加し、ごみゼロステーションを運営する形で環境活動を展開した。

また、新法人への移行を機に、4月に東京都の「緑の東京募金」への寄付を再開した。さらに、女性部を中心として「ベルマーク回収による東日本大震災被災校への支援活動」を行った。12月には、大島に対する東京都義援金に寄付を行った。

(2) 環境対策事業

該当事業なし。

(3) 災害廃棄物対策事業

東京都などと連携・協力し、引き続き東日本大震災の災害廃棄物処理支援を行った。また、10月に発生した伊豆大島の災害廃棄物の処理に対する協力を行った。

3. 普及事業（その他事業）

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取り組み状況などを、機関誌『とうきょうさんばい』をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

2) 協会発行図書等の有償頒布

主な有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	313部
一目でわかるマニフェストの書き方（CD）*販売:11月まで	14部
産業廃棄物適正処理実務のポイント *販売:11月まで	23部
建設廃棄物処理委託契約書	1,130部
建設廃棄物処理委託契約書及び記入例	102部

車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	33社	57組
シート(固定)式	14社	54組
合計	47社	111組

*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、（公社）全国産業廃棄物連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、協会を通じての加入受付を行うとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	293,100 セット	313,500 セット	606,600 セット
	積替用	29,500 セット	108,000 セット	137,500 セット
建設系廃棄物		522,500 セット	418,500 セット	941,000 セット
合計				1,685,100 セット

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	8,500 セット
--------------------------	-----------

(2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌『とうきょうさんばい』は第272号から283号まで計12号を発行した。

内容は、協会、（公社）全国産業廃棄物連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① [会長挨拶]
「新たな出発にあたって」 東京都産業廃棄物協会会長
- ② [青年部だより]
アースデイ2013でゴミゼロステーションを運営
たくさんの来場者の「環境目標」を前に「ゴミを捨てる」について再認識
- ③ [第1回定時総会]
一般社団法人移行後初めての総会開く
平成24年度事業報告と決算報告及び監事1名増員を承認可決
- ④ [多摩支部だより]
多摩支部設立20周年記念式典を開催
功労者に感謝状を贈呈

- ⑤ [女性部だより]
事前勉強会で放射線リスクと原爆のメカニズムを学ぶ
3年越しの計画を実現させ広島研修旅行を実施
- ⑥ [就任挨拶]
「資源循環と廃棄物適正処理に向けて」 東京都環境局長
「適正処理とリサイクルの推進」 東京都環境局廃棄物対策部長
- ⑦ [青年部設立20周年]
「歴史を噛みしめ次世代に引き継ぐ」
初代部長ら歴代の部長に感謝状を贈呈
- ⑧ [建設廃棄物委員会・施設見学会及び勉強会]
アスベスト100%リサイクル炉を見学
不法投棄対策（建廃の現場指導）をテーマに勉強会を開催
- ⑨ [中間処理委員会・収集運搬委員会]
収集運搬及び受入廃棄物への異物混入アンケート回答まとめ
- ⑩ [回顧と展望]
「法人化30周年の節目の年に」 専務理事
- ⑪ 新春講演会・賀詞交歓会を盛大に開催
- ⑫ 都から受託の「産業廃棄物処理業者向け（入門）講習会」を開催
～適正処理の基礎知識及び実務に関する講習会～

(3) 会 員 事 業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 安全衛生研修会	[会員対象]	<u>80名</u>
ア 第1回安全衛生研修会		
期 日	: 平成25年 6月27日	22名
内 容	: 石綿取扱い作業従事者特別教育	
講 師	: (一社)東京都産業廃棄物協会 安全衛生推進委員会	
場 所	: エッサム神田ホール (千代田区)	
イ 第2回安全衛生研修会		
期 日	: 平成25年10月16日	33名
内 容	: 産業廃棄物処理業における労働災害防止策について	
講 師	: 東京労働局	
場 所	: グリーンホール (千代田区)	

ウ 第3回安全衛生研修会

期 日 : 平成26年 2月27日 25名
内 容 : 事業場におけるメンタルヘルス対策の進め方
講 師 : 東京産業保健推進センター・
メンタルヘルス対策支援センター
場 所 : グリーンホール (千代田区)

② 医療廃棄物勉強会 [感染性廃棄物許可取得会員対象] 47名

ア 第1回

期 日 : 平成25年10月23日 28名
内 容 : 医療廃棄物業界を主体とする平成22年度法改正後の実施状況や
問題点、留意すべき点について
参加者がテーマを選ぶオールディスカッション
講 師 : 東京都環境局廃棄物対策部
場 所 : 協会会議室 (千代田区)

イ 第2回

期 日 : 平成26年 3月28日 19名
内 容 : 在宅医療廃棄物の適正処理に関する検討会のとりまとめについて
オールディスカッション
講 師 : 東京都環境局廃棄物対策部
場 所 : 協会会議室 (千代田区)

③ 国内外処理施設見学研修会 [会員対象] 35名

〔(一社)千葉県産業廃棄物協会と合同実施 当協会25名 千葉県協会10名〕

期 日 : 平成25年9月21日 ~ 24日
訪問先 : ベトナム フォック・ヒェップ廃棄物処理場 見学 (ホーチミン市)
等 ホーチミン市天然資源環境局 訪問 ほか

2) 会員交流・増強事業

- ① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。
- ② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会、東京都受託事業等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
平成24年度末会員数	577	67	644
平成25年度入会者数	9	2	11
〃 退会者数	11	9	20
平成25年度末会員数	575	60	635

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業廃棄物連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行うとともに、25年度も(一社)千葉県産業廃棄物協会と協力し、東京都と千葉県の行政を含めた千葉・東京四者会合を開催し、意見交換を進めた。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

3) 顕彰・表彰事業

「顕彰及び表彰規程」の改正を行い、優良従事者表彰に加え、新たに『優良事業所表彰』『功労者表彰』『安全衛生表彰』を設けた。

なお、平成25年度は、31名の方を『優良従事者』として表彰した。

4. 管 理 運 営

(1) 総 会 (1回)

第1回定時総会 期 日 : 平成25年 5月24日
場 所 : 青山ダイヤモンドホール (港区)
議 案 : ①平成24年度事業報告承認の件
②平成24年度決算報告承認の件
③監事選任の件
出席者 : 419名 (内委任状324名)

(2) 理事会 (8回)

第1回理事会 期 日 : 平成25年 4月10日
第2回理事会 期 日 : 平成25年 5月 8日
第3回理事会 期 日 : 平成25年 7月10日
第4回理事会 期 日 : 平成25年 9月11日
第5回理事会 期 日 : 平成25年11月13日
第6回理事会 期 日 : 平成25年12月11日
第7回理事会 期 日 : 平成26年 1月 8日
第8回理事会 期 日 : 平成26年 3月12日

(3) 常任理事会（14回）

平成 25 年	4 月 10 日	平成 25 年	4 月 23 日	平成 25 年	5 月 8 日
平成 25 年	6 月 12 日	平成 25 年	7 月 10 日	平成 25 年	7 月 23 日
平成 25 年	9 月 11 日	平成 25 年	10 月 22 日	平成 25 年	11 月 13 日
平成 25 年	11 月 26 日	平成 25 年	12 月 11 日	平成 26 年	1 月 28 日
平成 26 年	3 月 12 日	平成 26 年	3 月 25 日		

5. 委員会活動

(1) 総務委員会

事業計画や執行に関する基本的事項、法人化30周年記念事業等横断的事項について協議し、調整を行った。分科会として法制度検討委員会は、新たな課題の整理を含め、合宿方式による集中検討など熱心に活動を進め、その成果の一部は東京都への要望などに活かされた。また、災害廃棄物検討委員会の設置に向けて準備を進めた。

(2) 広報委員会

例年通り、毎月委員会を開催し、機関誌を発行した。また、協会ホームページの充実に伴い、従来、機関誌掲載記事としていた内容の一部をホームページ上に掲載できるようになった。また、将来の情報発信方法の最適化に向けての準備を逐一行うことができるようになった。

30周年記念事業に関わる準備として、祝賀会関係については、青年部にその準備の多くを依頼し、広報委員会としては「30年史」編纂の準備を行った。

委員数の充実に向けて、各方面をお願いをしたが、今年度も新たな委員の加入は達成できなかった。世の中の活字離れも影響しているのかもしれない。引き続き、若手の委員確保に向けて活動していくこととなった。

協会員との双方向の意見交換に関しては、具体的な方法を構築するまでに到らず、継続課題となった。

(3) 中間処理委員会

全国各地で発生した爆発・炎上事故が象徴するように、「異物混入問題」は重大事故につながりかねないだけに、当委員会では緊急かつ重要な課題として取り組みを強化した。今年度は会員に対するアンケートを実施したが、今後は東京都へのアンケート結果の報告や排出事業者への啓発活動など、さらに活動を推し進めていく。

また、この異物混入問題については、収集運搬委員会との合同委員会を開催す

るなど、他委員会との連携強化も視野に入れ活動に取り組んだ。

放射能問題については、これまで2回アンケートを実施し、結果の集約は終了しているが、事態が一定の落ち着きを見せていることから、今後の状況を見ながら、取り組み内容について検討していくこととした。

(4) 安全衛生推進委員会

会員各社の安全衛生活動に寄与すべく研修会・講習会を中心とした安全衛生活動を行った。6月は、健康被害をもたらすアスベストへの対応として、石綿取扱い作業従事者特別教育を行い、10月には恒例となった東京労働局より講師を招いたリスクアセスメントの基本と労働災害防止対策について研修会を行った。2月には、心の健康をテーマにメンタルヘルス体制の構築に関する研修会を行った。また、安全週間や年初には安全衛生推進ポスターを会員各社に配給し、安全衛生の啓発に努めた。

顕彰及び表彰制度を見直し、安全衛生活動の推進により労働災害の減少に努めた企業・事業所及び役員・従業員等に対する安全衛生表彰を盛り込んだ新たな表彰制度の運用が開始された。

(5) 医療廃棄物委員会

平成25年度の活動としては、様々な課題のある医療廃棄物について、東京都の指導状況を具体的に学習するため、産業廃棄物対策課より講師を招き、「平成22年度法改正の主な項目」及び「優良性評価制度」についてお話を伺った。その後新しい試みとして、参加者がテーマを選び全員でディスカッションを行う形式を採用し、ざっくばらんな本音の意見交換ができた。ゲストとして東京都医師会の方々にもご参加頂き、行政・排出事業者・処理業者と揃って意見交換ができたのは、画期的で大変有意義であった。

また、11月には、建設業から医療廃棄物の処理事業に進出した千葉県の大塚建設市原エコセンターを見学した。許可取得に7年半を要したことや周辺住民対応のお話など同じ業界として大変参考になった。これからも委員会として現実に沿った勉強をしていく。

(6) 収集運搬委員会

「災害発生時における支援・連絡体制について」組織図の対策本部は、総務委員会で対応する事とした。

中間処理委員会との合同委員会では、危険物混入ゼロを目指し「収集運搬廃棄物の異物混入アンケート」をまとめ、機関誌『とうきょうさんぱい』に掲載した。

収集運搬業者問題としては、軽油の価格高騰、ドライバー不足の解消、労基法問題、過積載及び中型免許問題等提起された。

法制度検討委員会への提示事項は、再委託の緩和で継続審議とした。

(公社)全国産業廃棄物連合会収集運搬部会の検討事項においては、道交法による欠格要件の緩和、収集運搬業許可証の1社1免許制に関するアンケートを行った。

その他トラックのアイドリングストップ装置の効果検証について情報を得た。

(7) 建設廃棄物委員会

平成25年度は3回の委員会と1回の施設見学会を実施した。第一回委員会は6月で、都内処理施設を対象とした再生砕石の処理や利用状況の調査を実施するための調整を行った。第二回は8月に開催、調査結果を踏まえたうえで、今後の委員会活動の方向性について協議をし、建設泥土の再利用に関する意見交換も行った。第三回は今年2月に開催、調査対象を関東地域に拡大して実施することを目的として委員会内での意見確認を行い、「過積載」と欠格要件についても法制度検討委員会への要望を提出することで一致した。

また、昨年10月には、JX金属環境㈱にて施設見学を実施、これと併せて「東京都の不法投棄対策について」の勉強会を行った。今後も再生砕石販路拡大を目的とした活動を積極的に行う。

(8) 多摩支部

① 多摩支部設立20周年記念式典

記念事業として、6月に「多摩支部設立20周年記念式典」を開催した。式典では永年にわたり多摩支部の活動に尽力された初代多摩支部長と元幹事に感謝状を贈りその功労を讃えた。

② 多摩支部会

式典と同日に開催。新幹事構成の報告と施設見学会の日程など確認し合った。『多摩支部20周年記念誌』の配布と法制度検討委員会の検討テーマについて報告があった。

③ 研修会

式典と同日に開催。東京都多摩環境事務所から4氏を招き、多摩地区における最近の指導事例と先行許可制度の講演を開催した。

④ 施設見学会

10月に協会との合同で実施予定としていた施設見学会は、台風のため中止となった。

⑤ 多摩支部幹事会

3月には新年度の計画の日程等の協議後、東京都多摩環境事務所の担当の方々和多摩地域の適正処理と今後の課題等について意見交換を行った。

(9) 青年部

平成25年度は、青年部が発足20年を迎えるにあたり、産業廃棄物業界を取り巻くステークホルダーのみならず、社会全体に対しての大きな貢献の証しであると考え、「周年事業＝業績面・歴史面での決算」と位置づけ、発足から受け継がれる諸先輩方の業績や発展の過程及び歴史を学び、次世代への道しるべとなるような企画・運営を計画し、9月20日に周年事業として実施した。

また、各会員企業のCSR活動に役立つ勉強会やBCP策定に関わる講習会などを実施し、活発な活動を促すための他県との交流や親睦の場を提供した。6月の定時総会のほか、幹事会を計10回開催し、以下の活動を実施した。①4月に「アースデイ東京2013」への参加 ②6月に関東ブロック10周年記念事業の運営 ③8月に親睦バーベキューの開催 ④10月に若手従業員を対象にした勉強会 ⑤1月にBCPに関する勉強会 ⑥3月に関東ブロック賀詞交歓会でのBCP研修会への参加

(10) 女性部

平成25年度の女性部の活動は、①「環境教育」では女性部オリジナルのプログラムの確立を目指した。そのために環境省の担当官を招いて「3R学びあいブック」の勉強会（5月開催）や環境省認定・3R推進マイスターに講師を務めて頂き、実践的な環境教育の取り組みについて学んだ（9月開催）。年度末3月には、部員会社である加藤商事㈱の協力を得て、小学生3～4年生を中心とした環境教育プログラム『ごみ工場体験見学！』を実施した。これによって我々業界のオリジナル環境教育プログラムの基本形を創ることができた。

②国内見学会は、2年に亘る「自然エネルギー・放射能」をテーマとした勉強会の集大成として、7月に広島平和記念資料館等を訪問。また(一社)広島県資源循環協会のご協力により、“きなり村”を見学し、協会長のお話も伺った。

③11月には、三重県で開催された(公社)全国産業廃棄物連合会等主催の「第12回産業廃棄物と環境を考える全国大会」の合間に、千葉県及び埼玉県協会女性部会と共に、関東地域協議会女性部会主催「e-Lady21 のつどい」第二弾の開催が実現する等、平成25年度も大変内容の濃い充実した活動を展開することができた。